

令和元年度 事業並びに活動報告

1. 運営に関する事項

- ① 浜松市助産師会 役員会・幹事会
- ② 静岡県助産師会 役員会・理事会・新年会
- ③ 浜松市助産師会通常総会・日本助産師会通常総会・静岡県助産師会通常総会
- ④ 専門部会・委員会の活動
- ⑤ 行政委託事業・個人別雇い上げ事業打ち合わせ
- ⑥ 浜松市母子保健推進会議
- ⑦ 要保護児童対策地域協議会
- ⑧ 助産師業務拡大に向けてのPR活動

2. 教育に関する事項

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 浜松市助産師会研修会 | ② 母子保健家族計画全国大会 |
| ③ 日本助産学会・学術集会 | ④ 日本母性衛生学会・学術集会 |
| ⑤ 日本助産師学会 | ⑥ 静岡県助産師会研修会 |
| ⑦ 静岡県母性衛生学会・学術集会 | ⑧ 静岡県小児保健学会 |
| ⑨ 母乳育児セミナー | ⑩ 母子保健セミナー |
| ⑪ 母子継続看護連絡会 | ⑫ 浜松市医療安全研修会 |
| ⑬ 看護師・助産師養成学校への講師派遣 | ⑭ せいれい看護学会 |

3. その他の事項

- ① 浜松市助産師会主催事業
- ② 行政委託事業
- ③ 個人別雇い上げ事業
- ④ 依頼による講座・相談事業
- ⑤ 浜松市及び湖西市との大規模災害時協定における勉強会

●令和元年度 役員会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・幹事会の準備・総会の準備

第1回 令和元年 7月 9日

第2回 令和元年 11月 12日

第3回 令和2年 3月 26日

第4回 令和2年 4月 16日

●令和元年度 幹事会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・その他

第1回 令和元年 7月 17日

第2回 令和元年 11月 29日

第3回 令和2年 3月 31日

令和元年度 会務並びに庶務報告

令和元年

4月 5日	浜松市立看護専門学校入学式 出席	齋藤
4月 17日	第119回 浜松市助産師会通常総会資料の準備	役員
5月 22日	「生後すぐからの肌ケア」勉強会(川田小児科医師との勉強会)	会員
6月 9日	一般社団法人吉川久子マタニティコンサート協会への参加	役員
6月 22日	浜松市新規採用保健師研修	齋藤・高洲
6月 26日	令和元年度 女性団体代表者連絡会	齋藤・宇田
7月 11日	第1回 浜松市母子保健推進会議	神崎
8月 6日	第1回 母子継続看護連絡会	役員
8月 21日	第1回 要保護児童対策協議会代表者会議	齋藤
10月 1日	浜松市危機管理課との防災についての勉強会	会員
10月 24日	浜松こども館運営委員会への参加	齋藤
10月 31日	湖西市(消防隊員)との分娩取り扱いに関する勉強会	会員
11月 1日		
11月 29日	第2回 母子継続看護連絡会	役員
12月 10日	「子どもの発育と授乳」勉強会 (浜松医療センター佐野小児科医師との勉強会)	会員

令和2年

1月 7日	年頭挨拶まわり(市長、こども家庭部部長、健康増進課長、 健康増進課、子育て支援課)	役員
2月 19日	健康はままつ21 推進会議	齋藤・高洲
2月 20日	第2回 浜松市母子保健推進会議	齋藤
2月 26日	第2回 要保護児童対策協議会代表者会議	齋藤
3月 10日	浜松こども館運営委員会への参加	齋藤

* 「ふたりで親になる講座」「はじめてのパパママレッスン」用
DVD 作成 会員

通 年	浜助・お知らせ・作成・送信	小川
	各表彰者推薦書提出	齋藤
	浜松市健康増進課 委託事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市子育て支援課 事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市各区要保護児童対策協議会実務者会議	齋藤 他
	浜松市各区地域支援連絡会出席	齋藤 他

●受賞関係

令和元年度表彰

- | | |
|----------------------|----------|
| ・厚生労働大臣表彰 | 神崎 江利子 様 |
| ・公益社団法人 母子保健推進会議会長表彰 | 高洲 昌子 様 |
| ・一般社団法人 日本家族計画協会会長表彰 | 小川 さゆり 様 |

●入会・退会者（敬称略）

入会者 令和元年度 なし

退会者 令和元年度 大石理加、太田千代子、小栗香織、神谷滝子、内藤朱美、榎本帆奈、森江雅子

訃報 藤野 郁代（平成31年4月15日ご逝去）

会員数 76名（令和2年4月1日現在）

保健指導部会 44名

勤務助産師部会 27名

助産所部会 5名

令和元年度 保健指導部会 活動報告

部会長 木下 光代
副部会長 濱角 由美子

I. 活動内容

1. 行政との会議・活動

- ・母子訪問事業・各区保健師助産師交流会（健康増進課・各区健康づくり課）
- ・妊婦支援事業（子育て支援課）
- ・浜松市要保護児童対策地域協議会実務者会議(各区年2回開催)
- ・母子継続看護連絡会（年2回）

2. 研修会参加

- 1) 令和元年度浜松市医療安全研修会(令和2年2月14日)
- 2) 幼児保育・発達に関する勉強会（ながかみ保育園 年4回）

3. 浜松市保健指導部会活動

- 1) 保健指導部会（年4回）
平成31年4月20日、令和元年6月27日、10月24日、令和2年2月28日
- 2) プレママひろば（年2回）
令和元年9月12日、10月3日
*令和2年3月に3回目を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で来年度に延期となった。
- 3) 浜松市助産師会ケアパンフレット発行
令和2年3月下旬

4. 静岡県助産師会活動

- 保健指導部会（年5回）
令和元年5月11日、7月6日、8月3日、11月5日、令和2年2月25日

5. 教育活動

聖隷クリストファー大学 助産学専攻科 母子訪問実習指導
聖隷クリストファー大学 看護学部 母性看護学講義に講師派遣

II. 会計報告

(単位：円)

支出	金額
会場費	2,970
事務用品	88
合計	3,058

令和元年度 勤務助産師部会 活動報告

部会長 杉山 真理
副部会長 岡本 愛

I. 活動内容

助産所部会との合同研修会を実施した。

1. テーマ：産後ケア、困ってない？～産後健診導入後、1年経過してみても～

日時：令和元年9月28日 14:00～16:00

場所：浜松福祉交流センター 21 会議室

参加者：11名

会員 10名（助産所1名 勤務3名 保健指導6名） 非会員 1名

- ・3施設の産後健診の状況や問題点について意見を交わす中で、新たな改善点がでてきた。
- ・母子訪問をしている助産師と各施設間の情報交換の場にもなった。
- ・参加者は少なかったが、活発な意見交換ができた。

2. テーマ：未来につなぐ子どものケア・飲めるベビーと飲めないベビー

～新生児の授乳における口腔評価とケア方法～

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催中止となった。
- ・時期未定だが、あらためて同テーマの研修会開催を検討している。

II. 会計報告

(単位：円)

支出	金額
研修会会場費	2,360
合計	2,360

令和元年度 助産所部会 活動報告

部会長 高林 香代子
副部会長 南谷 佐知子

I. 活動報告

- ・勤務助産師部会と合同で研修会の企画・運営を行った。
- ・有床助産院としてできることを災害対策委員と検討した。

II. 会計報告

勤務助産師部会の報告に準ずる。

令和元年度 推薦委員 活動報告

推薦委員 中道 梓
小杉 美佳
西村 奈々

I. 活動内容

令和2年度総会における役員改選のための準備

令和元年	11月	候補者選出のための推薦委員話し合い
同	11月～12月	候補者への依頼、調整
令和2年	1月17日～22日	候補者の決定
同	3月	推薦状の発送等
同	4月	選挙準備
同	4月18日	総会において選挙 管理

令和元年度 会則委員 活動報告

会則委員 君島 裕子
三室 静香
押川 浩美

令和元年度は、会則の検討事項がないため活動をしていない。

令和元年度 教育委員 活動報告

保健指導部会教育委員 大石 恵美子
勤務助産師部会教育委員 成岡 千恵子

I. 活動内容

1. 研修会

テーマ：生後すぐからの肌ケア(第2回)

日時：令和元年5月22日(水) 19:00~21:00

場所：浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)

講師：川田康介医師(かわだ小児科アレルギークリニック院長)

参加者：74名 会員24名、非会員50名

テーマ：「生を見つめた性教育」(導入編)

生きるための心(性)の教育 地域・行政・学校が連携する性教育

目的：現代に必要な性教育とは何かを考え、子どもたち一人ひとりが命の尊さを感じ、自分のことも相手のことも大切にしながら、心も体も健康に生きられるための支援につなげていく。

日時：令和元年10月6日(日) 10:00~16:00

場所：浜松市福祉交流センター 2階大会議室

講師：渡曾睦子先生(東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 地域看護学 教授)

内容：1) 生を見つめた性教育の根底にあるもの

2) 実際の性教育 中学3年生を中心に

3) 今後の浜松市助産師会の実践に向けて

参加者：59名 会員31名

非会員28名(助産師18名、保健師5名、看護師2名、養護教諭2名、
学生1名)

参加者の評価：大変良かった 54名、良かった 1名、未記入 4名

参加者の感想・意見

- ・心の教育が性教育につながっているという事を再確認することができた。
- ・実際に小学校や中学校でお話されている内容がとても参考になった。
- ・一母親として思春期の勉強をさせてもらいました。
性教育というと体に注目が行きがちですが、心に重きを置きたいと思います。
- ・性教育は生きることを教えるということを再認識することができた。
- ・今の子ども達の現状を知ることができて本当に勉強になった。
- ・性教育に対する考え方が自分自身の中で固執した捉え方であったことに気づかされた。
- ・自分の行ってきた講義について、よかったことと課題が明らかになった。
- ・性教育の具体的な導入方法から指導内容、展開内容、まとめまで理解できた。
- ・今までの性教育講座では聞いたことのない、「学習指導要綱に沿って行う」「6・3・3年の各段階を踏む」という視点は目からウロコだった。

令和元年度 災害対策委員 活動報告

災害対策委員 波多野 美奈子

小田木 佐織

I. 活動報告

1. 災害時の会員の安否確認訓練の実施

実施日時：令和2年2月4日(火) 7:00 開始(72 時間実施)

訓練内容：日本助産師会会員（浜松市助産師会会員を含む）の安否確認。

例年行っていた事前連絡をせず、安否確認訓練を実施。

メール・LINE 及び電話での安否確認訓練を実施。

結果：2月6日(木) 7:11 会員 80 人中 79 人の確認ができた。

新規に導入した LINE 投票箱についても柔軟に対応・調整することができた。

確認方法が増えたことで、災害時の円滑な安否確認に役立つことが期待できる。

2. 研修会

令和元年6月22日：静岡県助産師会・災害対策委員会主催のステップアップ講習会

講習会において浜松地区のグループワークで意見交換

10月1日：災害時における助産師活動研修会

場所：青少年の家 13名参加

講師：浜松市危機管理課職員2名

内容：避難所運営 HUG、グループワーク

10月31日～11月1日：湖西市(消防隊員)との分娩取り扱いに関する勉強会

3. 会議

令和元年8月21日：災害対策委員と助産所部会長、役員で話し合い 場所：はたの助産所

10月24日：保健指導部会において話し合い(助産所部会長参加)

浜松市内を4地域にわけて、災害時の活動拠点を設置する。

東：はたの助産所

西：ひだまり助産院

南：すこやか助産院

北：川渕助産院

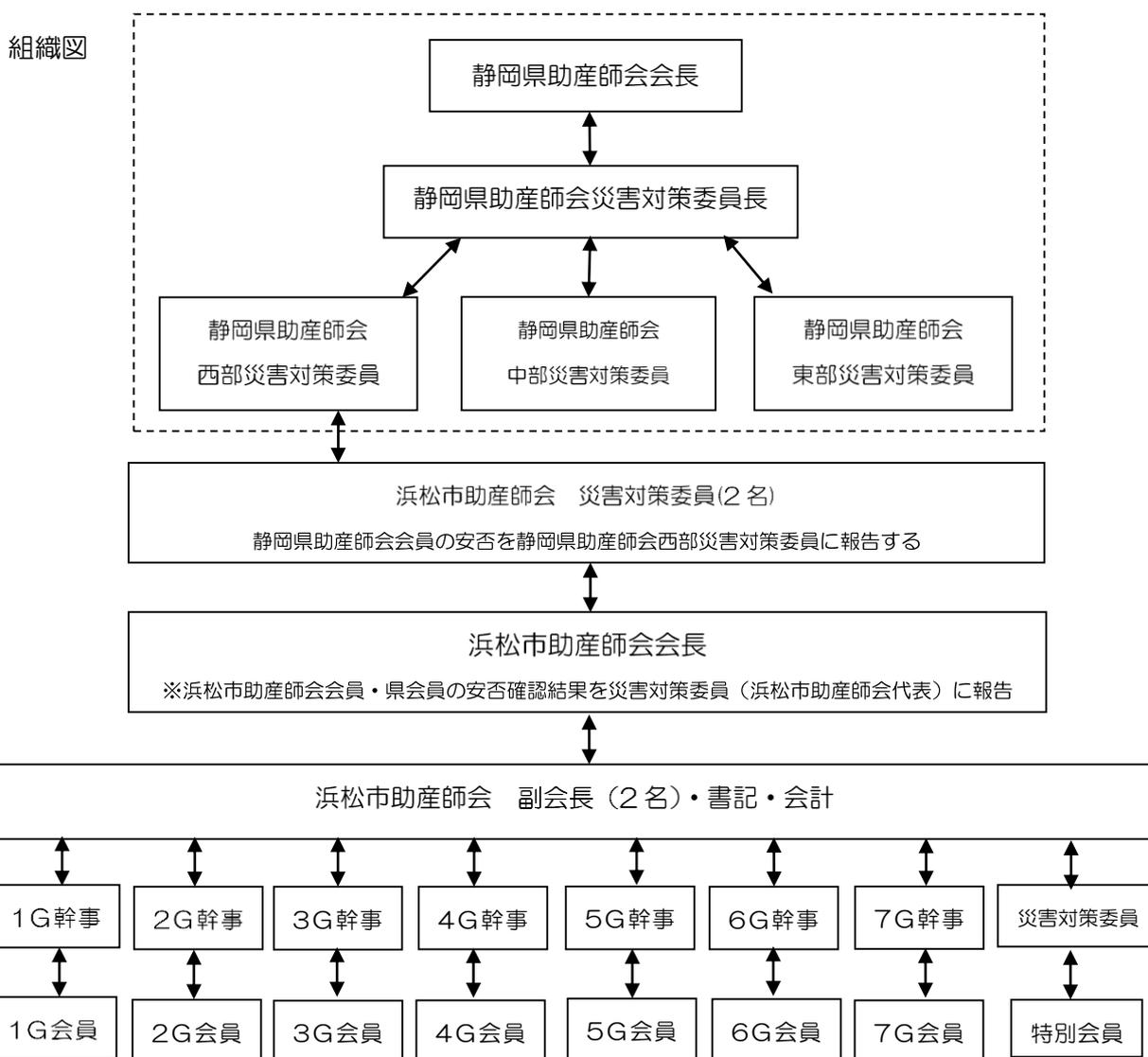
拠点助産所の運営方法等について、今後さらに検討を重ねていく予定。

※大原則

- その状況に合わせて、自分で考え、行動する
- 大災害時、3日間は自力で生き抜く
- 災害時における「情報」の重要性を認識する

1. 大地震発生後の安否確認

会員とその家族の安否確認のため、下記の連絡組織図に従い、連絡を取り合い、確認する
 * 幹事と連絡がとれない時は、災害対策委員（役員が災害対策委員を兼務）に連絡する



※聖隷浜松病院 防災マニュアル参考に作成

2. 大地震発生時とその後の対処

- 1) 自分と家族の安全を守る
- 2) 自分のできる範囲内で地域（自治会など）での防災活動に参加する
- 3) 勤務助産師部会は、勤務先のマニュアルに準ずる
- 4) 会に協力を依頼したいことが発生した場合は、災害対策委員に連絡する

令和元年度 出前講座事業報告

I. 活動内容

1. 会議

日時：令和元年 7月 24日 9:00~12:00

場所：和地山公園小ホール

内容：講座担当者決め、教材準備、補修

2. 講座

小学校 9校 12講座

日時	学校名	対象
9/19	都田	3年生 15名
9/26	入野	4年生 88名(参観会)
11/16	金指	2,4,6年生 33名(参観会)
11/25	都田南	4年生 64名
12/19	与進北	4年生 96名
1/15	三方原	4年生 108名
1/15	与進	4年生 151名
1/21	冨塚西	4年生 77名
1/23	和田	4年生 104名
2/27	都田	6年生 18名

高等学校 1校 3講座

7/5	大平台	1年生 160名
-----	-----	----------

中学校 6校 9講座

日時	学校名	対象
6/28	篠原※2	2年生 133名
7/5	篠原	3年生 133名 男女別
7/8	開誠館※2	2年生 85名
10/4	与進	3年生 220名
11/5	北部※2	2年生 137名
11/15	三方原	3年生 199名 男女別
11/22	聴覚支援学校※2	2年生 11名

幼稚園・保育園 3園 3講座

1/10	北庄内幼稚園※1	年長 18名と保護者
1/11	順愛こども園	年長 18名と保護者
1/14	豊岡幼稚園※1	年長 32名と保護者

大学 1校 1講座

5/21	聖隷クリスチャー	20名※1
------	----------	-------

※1：ひかりライオンズ委託事業

※2：浜松市思春期教室

II. 総括

- ・子ども達から、「命を大切にしたいと思った」「命の始まりが分かった」などの感想文をいただいた。先生や保護者からは、内容も大変わかりやすく、子供たちへ良い影響を与える機会になったとの意見をいただいた。
- ・小学校及び中学校を中心に毎年継続的に依頼はあるが、小学校の新規の依頼が少ない。今後もブログでの活動発信や、養護教諭などへのPRをおこなっていきたい。
- ・浜松市思春期教室をおこなった学校の評価は非常に高く、好感が持てるとの意見であった。
- ・卒業前の中学3年生への講座依頼が3校あったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でキャンセルとなった。

III. 会計報告

(単位：円)

支出	金額
設備・材料費 (携帯型ドップラー等)	16,580
通信費	2,282
合計	18,862

* 静岡県助産師会物品借用代は、謝金から支払いをした

令和元年度「プレママひろば」事業報告

I. 活動内容

1. プログラムと参加者

講座時間：13:30～16:00(受付 13:15～)

場所：東部保健福祉センター2階

申し込み人数：18名

日程	内容	参加人数
第1回(マタニティ編) 令和元年9月12日	チャイルドシートのはなし(JAF講師) お産のはなし&エクササイズ おしゃべりタイム	妊婦 14名
第2回(マタニティ編) 令和元年10月3日	知っておきたい おっぱいと赤ちゃんのはなし 先輩ママからのエール おしゃべりタイム	妊婦 13名 母子(昨年度参加者)8組
第3回(親子同窓会) 令和2年3月12日	ベビーマッサージ 助産師からのメッセージ おしゃべりタイム	新型コロナウイルス感染 拡大の影響で開催延期

2. アンケート結果(プレママ)

第1回 チャイルドシートのはなし

満足 64.3% やや満足 14.3% 普通 14.3% やや不満 7.1%

お産のはなし&エクササイズ

満足 92.9% やや満足 7.1%

講座を受けて、ご自身の中で変化を感じますか？

変化を感じる 76.9% 感じない 23.1%

第2回 知っておきたいおっぱいと赤ちゃんのはなし

満足 76.9% やや満足 23.1%

先輩ママからのエール

満足 76.9% やや満足 15.4% 普通 7.7%

講座を受けて、ご自身の中で変化を感じますか？

変化を感じる 100%

アンケート結果(先輩ママ)

昨年、妊娠中に受講したこの講座は役に立ちましたか？

妊娠中・出産において・育児において 役に立った 100%

3. 事業を終えて

- アンケート結果から、継続型講座の意義を感じることができた。
- 今年度も、周知や会場使用について行政の協力があり助かった。
- 今年度は申し込み方法をインターネットと往復はがきで実施した。
それを踏まえて、来年度はインターネット申し込みのみとしていきたい。

II. 会計報告

(単位：円)

支出	金額
保険(1,900円×2回)	3,800
講師代(13,126円×4名)	52,504
JAF講師代	7,434
合計	63,738

令和元年度 ふたりで親になる講座 事業報告

I. 活動内容

新規事業として、妊娠中のカップルを対象に、妊娠中から産後にかけての講座を企画した。パートナー同士と一緒に親になるための心構えを学ぶことを目的として、新たな家族を迎えることにより、パートナー(家族)とのバランスが変化することなどを具体的に想像できるようなワークを中心とする講座とした。

1. 準備・打ち合わせ 全 23 回

全体のプログラムと日程調整：7月20日、8月2日、12日、23日、9月4日、27日

スライド作成・練習：10月11日、18日、27日、令和2年1月9日、13日、24日

振り返りと3回目への調整：12月14日、29日、令和2年2月7日、8日、9日

3回目の準備と来年度計画：令和2年2月15日、16日、22日、24日、3月20日、21日

2. 講座時間：10:00～12:00(受付9:40～)

	内 容	日曜コース 聖隷クリストファー大学	土曜コース すこやか助産院
参加者		初産 5 組 経産 1 組(子 2 名)	初産 4 組 経産 1 組(子 1 名)
第 1 回	パートナーについて知る 参加者同士知り合う	令和元年 10 月 27 日	令和元年 11 月 9 日
第 2 回	もうすぐ赤ちゃんがやってくる 産後の生活をイメージしよう	令和元年 11 月 24 日	令和元年 12 月 14 日
第 3 回 (予定)	赤ちゃんあるある 自分たちの未来を想像しよう	令和 2 年 6 月 14 日	令和 2 年 7 月 18 日

II. アンケートより（原文のまま掲載）

男性：・産後の具体的な生活や気持ちをイメージし、考える良い機会だった。
・継続拡大して頂けると大変喜ばれる催しだと思った。
・いろいろな方の意見を聞くことができ、視野が広がった。家族の絆が深まった。
・できない事は我慢して、教えてもらうことも大切だと思った。
・助産師の話を聞いたのは大変参考になった。他のお父さんの話を聞いて良かった。

女性：・二人の理想の家族について話し合えてよかった。
・お互いに思いやることの大切さと、話し合いの必要性を知れて良かった。
・話し合いは家ではあまりしないので良い機会だった。
・子連れ経産婦も安心して楽しく参加できた。助産師から夫に伝えてもらって良かった。
・お互いの気持ちを言葉にして伝え、わかりあえたことがよかった。
・三人目の妊婦さんの話が聞けて、心が軽くなった。
・助産師さんとゆっくり話せて良かった。

III. 会計報告

(単位：円)

支出	金額
会場費	7,500
保険料	7,600
郵送費	2,520
事務費等	5,554
講師スタッフ	48,000
チラシ	3,656
合計	74,830